

学校法人帝南学園 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1. 専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ

1-1：概要

IT 分野では、AI 技術のめざましい進化が継続しており、業界内でも求める人材像は、より高度な、より多様な人材に変化、進化している。

観光分野においては、国内外の交流人口が増加している。特にインバウンド需要はコロナ以前に戻りつつあり、人員不足、インバウンド需要に応じた人材不足が顕著になっている。常に目まぐるしい変化をしている社会情勢において、それぞれの分野の需要が高まる一方で、専門スキルをもった人材不足は、深刻になりつつあることから、若い専門人材の育成が求められている。

専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジでは、「IT、英語教育を全学科で実施」「企業との連携による実践授業」「リメディアル教育の実施」を根幹に、常に時代の趨勢に合わせカリキュラムを編成しながら、その時代の求める人材育成に努めている。

1-2：学科概要

① 未来創造IT 学科（昼間部・通信課程2年制）

未来創造 IT 学科では、「機械学習」や「AWS」といった、AI・クラウド関連の技術およびそれらの分野に深く関係する「Python」を中心に、次代のIT業界において価値ある技術の習得を目指す。また、英語能力を養うことで、国際的に活躍できるだけでなく、最新技術をリアルタイムに身に付けられるITエンジニアの育成を目指している。

② 未来観光ビジネス学科（昼間部・通信課程2年制）

日本のみならず世界の観光業界全体で求められる人材を育成することを目標としている。観光関連企業で必要な専門知識の他に、日本人が苦手としている英語力、特にコミュニケーション能力を高めることを目標としている。現在、ガストロノミーツーリズムはじめとする新しい観光スタイルも積極的に、学びに取り入れ、インターネットを駆使できる力を基本的に備えたホスピタリティ精神の溢れた最上のサービスを提供できる人材育成を目指している。

③ 文化芸術学科（昼間部2年制）

漫画の基礎であるデッサンから、漫画家の仕事の在り方、漫画業界についても指導。また漫画のストーリーやネームの作成の仕方から指導し、現在の縦スクロールマンガの描き方についても指導し、プロデビューを目指す。

1-3：2023年度入学者数

- ・未来創造IT学科（昼間・通信制）：昼間 15名、通信 1名
- ・未来観光ビジネス学科（昼間・通信制）：昼間 14名、通信 1名
- ・文化芸術学科（昼間）：昼間 6名

1-4：就職・資格取得

令和5年度においては、未来創造IT学科通信制課程で卒業生が1名。就職先は、株式会社マーキュリーである。株式会社マーキュリーとは教育連携している企業である。

また、資格についても2年次に取得を目指し、指導している。

1-5：入試広報

新設の専門学校ということから、千葉県内の学校を中心に出張型体験授業を積極的に実施。また、主要媒体企業への広告出稿と、ガイダンスへの参画、学校訪問を実施し認知度の向上に継続して行った。

また、SNSを活用した広報にも積極的に取り組んだ。